

# Peace!

NO.11 February 2014

地域の患者さんに寄り添ったプライマリ・ケアを  
学べる実習申込はこちらから！



〒960-8141 福島県福島市渡利字中江町34  
医療生協わたり病院 医局事務課  
Tel.024-521-2056 Email: rinkens@fmc.u-coop.or.jp

わたり病院

検索



みなさんこんにちは。福島県福島市の医療生協わたり病院です。これを書いているのは医師国家試験終わったあとの週です。いやー雪降りすぎ(´д´) 病院も職員みんなで雪かきしてました。下の写真みたいに(2月9日)膝上まで積りましたからね。福島県立医大のみなさんとか、すごく大変そうでしたが大丈夫でしたか？あと東京のみなさんも都市機能ストップしたみたいで大変でしたね。そして、6年生のみなさん、豪雪の中3日間にわたる国試、お疲れ様でした！！！！m(\_)\_m今年

年は去年より難しかったという噂ですが、受験されたみなさんいかがでしたでしょうか…そういえばツイッターで見かけた今年の問題でおもしろいのがありました。

【108H問題-1】 就業者数が最も少ないのはどれか。

a医師 b看護師 c保健師 d薬剤師 e歯科医師

へー…こういう問題もできるのね。やっぱり医師不足って言われてるからaじゃないの？とみせかけて看護師不足のb？答えはみなさんで調べてください(ひどい)！！それでは今回もPeace! お送りします。あ、なにげに通信の名前変えました。よろしくどうぞ(^)/



膝ずっぽり埋まるほど40~50cm積もるの図

## 研修医の医療面接の様子レポ！

### そもそも医療面接って？

患者さんの病状や思いを聞き取り、医師として適切な対応ができるのか。SP(Simulated Patient 模擬患者)の方を相手にしたトレーニングを当院の初期研修でも行っています。1月末日に、当院の山内Drが医療面接を行いました。

4年生はOSCE、5年生はアドバンストOSCEでご存知だと思います。福島県立医大には模擬患者の会もありますよね。

当院のSPIは、模擬患者としての講習を受けた医療生協の組合員さん。地域住民の方がこうして協力して下さるのは、生協病院ならではの特徴です。



緊迫した現場の後の懇談風景(^o^)



しゃっくりが3日も止まらないのよ！私が死んだら責任取れるの！？

どう言ったら納得してくれるのかな…

す、すげえ迫力……

指導医が研修医とSPとの面接をチェック。診察室の様子はモニターを通じてリアルタイムで映し出されます。

「模擬ってことは演技なんですよ？なんか嘘っぽいんじゃないの？」って思ったかたもいらっしやるかもしれませんが、とんでもない！SPの方の醸し出すリアリティ、凄まじいんですから…(´o`;)」

あらかじめ医師と模擬患者には、それぞれにシナリオが渡されます。ちなみにこの日は「しゃっくりが3日間止まらないう患者さん」にどういう説明をするかというもの。

「しゃっくりが3日間止まらないうと死ぬ」と本気で思い込み、感情的になっている患者さんに対し、冷静に説明をする山内Dr。客観性と優しさを感じさせる口調に医師としての成長を感じつつも、お医者さんって感情を抑えて理性的でいなければならぬ大変だなあ…としみじみ感じさせられました。

## 診療所で学習会 医学部生も参加 ～命の格差は止められるか～



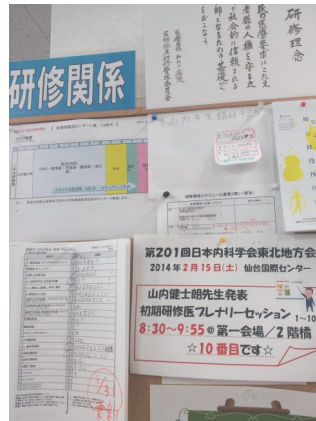
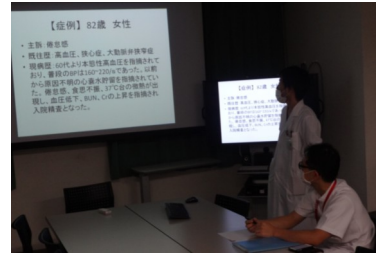
小学館101新書  
命の格差は止められるか  
著/イチロー・カワチ  
定価 756円(税込)

前号でもおすすめした「命の格差は止められるか」(著/イチロー・カワチ)の学習会が、わたり病院附属のふれあいクリニックさくらみずで2回にわたって開催され、福島県立医大生も述べそれぞれ2名ずつ参加しました。

経済格差が健康格差に直結していることを社会疫学的に検証していくこの著書を1章毎にレポートしていく読書会、レポーターに医学生の方も協力していただき、非常に盛り上がりました。

## 研修も10か月が経過。 はやいもので…あと2カ月で1年です☆

(左)内科学会への発表にむけて絶賛予行練習中！  
(下)病院医局の研修用掲示板。研修理念に始まり、週・月・年単位でのスケジュールや、研修到達度合いを随時チェックするためのリストなどを細かく掲示。これは研修担当の事務が頑張っています。



当院研修医1年目の山内健士朗先生は10か月におよぶ総合内科(外科系研修含む)の研修を終え、2月から2カ月間福島県立医大救急科の研修に入ります。

2月中旬には日本内科学会東北地方会での発表も予定されており、非常に忙しくしているようです。身体大切になってくださいねほんと(^\_^)

## 奨学金制度があります

## 医学部では学べないことがある。 全国の医学生とのつながりは卒業してからも！

医療生協わたり病院が加盟している福島県民主機関連合会(福島県民医連)では、返還免除制度のある**月額15万円の奨学金を貸与**しています。更に返還義務のある特別貸与制度として、1万円単位で最高月額10万円までの制度もあります。返還免除制度は当連合会加盟院所・事業所にて医師として貸与期間と同期間勤務すれば免除されます。

奨学生の義務として奨学生活動への参加があります。全国から300人を超える医学生が集まり医療と医師研修を考える「医学生のつどい」や県単位で行う奨学生活動などがあり、医学生としての“学び”により深みが出ます。特に医学生のつどいは30年以上続いており、そこで語り合った仲間はかけがえのないもの。卒業後、医師になってからも連絡を取り合ったりしている先生も多いようですよ(^\_^)

【医学生のつどいテーマ例】2013年:終末期医療について 2012年:原発問題

福島県民医連

検索



### ■ 福島県民医連加盟病院・事業所

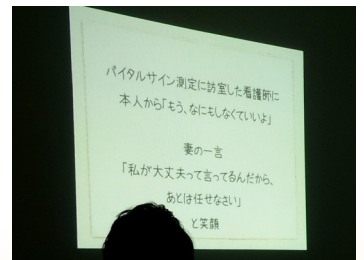
【喜多方市】  
医療生協きたかた診療所

【会津若松市】  
会津若松診療所

【郡山市】  
桑野協立病院  
特別養護老人ホームおおつき

【福島市】  
医療生協わたり病院  
生協いいの診療所  
ふれあいクリニックさくらみず  
ふらんだん薬局  
介護老人保健施設はなひらの  
特別養護老人ホームはなしのふ

【いわき市】  
小名浜生協病院  
せいきょうクリニック  
※他に訪問ステーション等多数



医療生協わたり病院 医学生通信

# Peace!

NO.11 FEBRUARY 2014